

- ①社会生活に必要な国語についてその特質を理解し適切に使うことができるようにする。
②社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
③言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

月	単元名	時 数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	世界はうつくしいと	1	詩の特徴を生かして朗読し、詩を読み深める。	1、詩の特徴を生かして朗読している。 2、詩に用いられている語句や表現に着目して内容を考えている。	自分なりの解釈を自分の言葉でまとめている。	
	握手	5	物語を読んで、登場人物の人物像や心情を読み取る。	登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。	1、「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。 2、登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。	粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
	意見を聞き、適切さを判断する	1	「中学生は全員、ボランティア活動をするべきだ」というテーマのスピーチを聞き、適切さを判断する。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	多様な考えをもつ聞き手の存在を想定しながら、意見と根拠、理由づけの適切さを判断し、改善策を検討している。	聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。
	文法への扉 1	1	教材文を読み、文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。
5	説得力のある構成を考えよう	3	社会生活の中から自分が訴えたいことを見つけ、話の組み立てを工夫して、クラス全体に向けたスピーチを行う。	情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。	興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。
	学びて時に之を習ふ～論語から	4	論語を読み、訓読の方法を確認するとともに孔子の言葉を理解する。	1、論語を知る。 2、歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。	孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	相手や場に応じた言葉遣い	1	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切な使い方を学ぶ。	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、実際の使用場面を想定しながら、適切な使い方を考えている。		相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
	熟語の読み方	1	さまざまな熟語の読み方について理解する。	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	作られた「物語」を超えて	4	文章を読んで、筆者の主張と論理の展開を捉える。	ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。	論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開を捉えている。	進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて学び、今後の文章の書き方に生かそうとしている。
6	思考のレッスン 具体化・抽象化	1	具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたについて理解をする。	具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。		具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。
	論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く	4	資料から読み取った事実の中から、自分の意見を支える適切な根拠を選んでいる。	資料から読み取った事実の中から、自分の意見を支える適切な根拠を選んでいる。	課題に沿って資料を読み解き、読み取った事実と、自分の解釈や考えを整理して書き出している。	論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。
	漢字に親しもう	1	課題に沿って情報を読み取り、文章の構成や論理の展開意識して、小論文を書く。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	書写 （「輝ける未来」）	2	既習の技法を用いて、作品を完成させる。	今までに学習した知識・技能を活かして書いている。	字形や配列等を考え、作品を書いている。	自分で決めた課題に沿って「輝ける未来」を書こうとしている。
	俳句の可能性	4	俳句の約束ごとを知るとともに俳句に詠まれている情景を想像し、鑑賞文を書く。	俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。	語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。	進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたりしようとしている。
7	言葉を選ぼう 和語・漢語・外来語	1	言葉について知識を深める。	言葉を使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。
	実用な文章を読もう （報道文の比較）	2	実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。	実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。	事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。	積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。
	情報の信頼性	1	問題演習を通して、情報の信頼性の確かめ方を理解する。	情報の発信日時、発信源、情報を伝える目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。		積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして問題に取り組もうとしている。
	読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	2	図書館も利用しながら、夏休みに読む本を見つけ、紹介する準備をする。	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。	登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。	読書進んでの意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。

			1 学期 評価方法・評価場面 A おおむね 8 0 % 以上 B おおむね 5 0 % 以上	定期テスト ワークシート	定期テスト 作品提出 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方
--	--	--	--	-----------------	-------------------------	------------------------------

9	挨拶 原爆の写真によせて	2	詩を読み、考えたことを伝え合う。	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。	1、詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。 2、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
	故郷	5	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	さまざまな語句を学習し、語彙力を広げている。	1、自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 2、「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。	粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして、自分の考えをまとめたりしようとしている。
	「推敲」論理の展開を整える	1	「事実と意見」「具体と抽象」を意識して推敲する。	既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。	課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。	粘り強く、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。
	慣用句・ことわざ・故事成語	1	慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。	慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。		積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
10	漢字の造語力	1	「漢字に親しもう」の問題に取り組む。	漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	聞き上手になろう	1	話し手、聞き手、聴衆役の立場になり、「聞き上手」とは何かを考える。	話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。	自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。	粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
	複数の意見を読んで、考えよう ――正解が一つに決まらない課題と向き合う	3	「環境問題を解決するために」というテーマの3つの文章を読み、筆者の主張を捉えよう。		1、観点を決めて文章を比較したり、自分の知識や経験と照合したりしながら批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について考えている。 2、提言の内容、論理の展開、表現のしかたなどについて、自分の知識や経験と結び付けたり、討論したりして、評価している。	三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
	説得力のある批評文を書く	5	関心のある事柄や気になった事柄について文章を書き、推敲して仕上げる。	具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。	自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。	粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
	文法への扉2 「ない」の違いが分からない？	1	意味や用法によって、分類される語について学ぶ。	単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	音読を楽しもう 「初恋」	2	言葉の響きやリズムを味わいながら作品を朗読する。	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。	文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。	進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。
11	和歌の世界 古今和歌集仮名序	1	和歌にどのような思いがこめられているかを知る。	「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。		進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	君待つと 万葉・古今・新古今	5	和歌を音読し、表現技法などを学ぶことで、和歌の世界を味わう。	三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。	心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。
	話し合いを効果的に進める	1	話し合いを効果的に進めるために注意することを学ぶ。	全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。	話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。	積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。
	合意形成に向けて話し合おう	4	課題解決のために会議を開く練習をする。	複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。	提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。	合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
12	夏草 「おくのほそ道」	5	おくの細道を学習し、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。	作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。	芭蕉が見たものや感じたことを想像している。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。

12	古典名句・名言集	1	気に入った作品を朗読し、筆ペンなどで清書する。 <u>（書写）</u>	1、作者や作品の時代背景を知り、古典の名句・名言を朗読している。 2、気に入った名句や名言を筆ペンで書いたり、それについて自分の考えを書いたりしている。		長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。
	書き初め	4	書き初め作品を練習する。 <u>（書写）</u>	今まで学習した知識・技能を生かして書いている。		3年間で学習した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして作品を制作しようとしている。
	それでも、言葉を	5	筆者の考えについて自分の考えをまとめる。	抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。	文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。	今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて議論したり文章にまとめたりしようとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80％以上 B おおむね50％以上	定期テスト ワークシート	定期テスト 作品提出 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方
1	情報を読み取って文章を書こう	2	グラフから情報を読み取り、小論文を書く。	具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。	資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。	論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。
	漢字のまとめ漢字に親しもう	1	2、3年で学習した漢字を復習する。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉	1	「ない」の文法上の違いを理解する。	「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。		単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
	アラスカとの出会い・律儀な桜	1	二つの作品を読み比べ、作品の良さについてまとめよう。	二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をまとめている。	今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。
	本の世界を広げよう	2	読んだ本や興味をもった本について語り合う。		読書を通して、考えたことや気づいたことをワークシートにまとめたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。	読書の意義と効用について理解し、友達と本についての考えについて語りあっている。
2	温かいスープ	2	筆者の考えを読み取り、「国際性」について自分の考えをもつ。	文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取っている。	自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えを200字程度にまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	わたしを束ねないで	2	作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。	言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。	詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
	漢字に親しもう	3	3年間の漢字の総まとめをする。	音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3	学習を振り返ろう	4	読解の復習、スピーチの総まとめ、図表をもとに作文を書くの3つの分野の総まとめをする。	相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。	1、文章に表れているものの見方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 2、目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。	粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80％以上 B おおむね50％以上	定期テスト ワークシート	定期テスト 作品提出 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方